

















































3つの特徴 認識へリックスによる主溝への結合:HTH 認識へリックス間の距離:二量体構造 オペレータ領域の配列認識: 塩基対4(A-T) 中央部分の配列 (DNAの歪み)

27

## 転写制御因子の 結合とDNAの歪み



## 結合のアロステリック調節

trpリプレッサー













## 結合後のDNAの構造変化 と転写活性











今回の範囲では特定のDNA配列を認識して結合する HTHモチーフの蛋白質の構造を見た.一方,リプレッ サー等が結合するDNAは,表8-2で見られるように 配列の中央部に A-T塩基対を持っている.なぜか?

この部分はリプレッサー等のHTHが直接結合しないが、これらをG-Cに置換すると結合能が低下する.